

## 報 告 書

( 布施賢司班)

開 催 日 時	平成 2 7 年 1 0 月 1 3 日 (火)	
開 催 場 所	旭センター	
出 席 議 員	司会者	布施賢司議員
	サブテーマ担当者	廃校等の施設の有効活用 西村健議員
		農業等の後継者育成 笹田卓議員
		田舎暮らしの仲間作り 岡本正友議員
	記録・報告	上野茂議員
参 加 人 数	3 5 人	
主な要望・提言等	<p>メインテーマ 地域の個性を活かしたまちづくりを充実するには？</p> <p>サブテーマ 「廃校等の施設の有効活用について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法律に縛られて使えない、全国の活用例を研究しどう法律をクリアしているか調査する。</li> <li>・先々人口減になるために予算があるうち早めに整理する。</li> <li>・取り壊し定住促進住宅にしたらどうか</li> <li>・室内プールやバテングセンターにはしては</li> <li>・広島のと砂災害そうした人の住居にし、通勤可能でありそのために改造したらどうか、期間限定でもいい</li> <li>・旧木田小学校の雑巾がけを見習う。全国大会をしては</li> <li>・地域の交流の場にし、コーヒー、軽食、産直市を週 2 回高齢者が集まる。</li> <li>・この地でないと学べない進学塾</li> <li>・キャンプ地として宿泊施設を整える</li> </ul> <p>サブテーマ 「農業等の後継者育成について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旭を語るにはまず「水稻」オール旭の共通課題</li> <li>・基盤の整備（質の高い農地に変える）をすることが必要</li> <li>・「旭米」と言うブランドで高く売れることを考えたらどうか</li> <li>・ブランド化には組織化が必要、品質の統一</li> <li>・自分で守る農地と人に預ける農地を仕分ける</li> <li>・全住民参加型の集落営農が地域を守る</li> <li>・水田以外に目を向ける</li> <li>・私の子どもは一度に 3 合のご飯を食べるだから米を作る</li> </ul>	

	<p>サブテーマ 「田舎暮らしの仲間作りについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会は強固だが若者の話す場がない、この会に来てくれば</li> <li>・婚活イベント人数限定をもっと幅を広げて、女性の参加が少ない</li> <li>・いつも同じメンバーいろいろな世代が集える場づくりをする</li> <li>・現存する集団を側から応援する仲間が必要</li> <li>・リーダーの育成を、行政が研修会を開く、若者は忙しい</li> <li>・社会復帰促進センターの趣味の人を誘う、今はPTAだけ</li> <li>・地域の絆がなくなっている各種団体の者は仲がいいが参加できないものはどうするか？</li> <li>・女性が参加しやすい仲間作り</li> <li>・平日若い女性が集える場、機会が必要</li> <li>・社会復帰促進センターとの接点がない、地域の住宅へホームステイのようにしたらいいのでは</li> <li>・飲み屋で出会うと仲良くなる</li> <li>・町内の空家に刑務官の方に住んでもらいたい、官舎以外の方13人</li> <li>・田舎暮らしの良さを意図的に伝える公民館にしてほしい</li> <li>・旭の自然に目が向くように公民館が仕掛けをしてほしい</li> <li>・飲みにケーションをもっと増やして</li> <li>・島根あさひ社会復帰促進センターでは事業に若者が参加したがないので半強制的に行かせる。</li> <li>・島根あさひ社会復帰促進センターの住民と地域を公民館が仲を取り持っている。子どもがいれば奥さんが参加しやすいがいない人も行きやすいようにしてほしい</li> <li>・神楽・アユ掛け・スキー・里山・炭焼き・イノシシを活用した地域づくり</li> <li>・高齢者の交通手段を確保、農産加工、公共施設の清掃などで集まる機会を作ること</li> <li>・世代を超えた集まりを、危機感がない自ら動こうとしない。</li> </ul>
--	--

浜田市議会議長

原田義則 様

平成 27年10月23日

浜田市議会報告会規程第9条第1項の規定により提出します。

布施 班

代表者 布施賢司